

## 方谷誕生の地 中井町周辺マップ



**見返りの榎**とは方谷駅の高梁川を挟んで対岸にある大きなエノキの木で、河井継之助が方谷の元を去る際にこの木下で振り返り3度土下座を繰り返して方谷を生涯の師と仰いだ場所といわれている。  
※駐車スペースはありません。

### 12 見返りの榎



### 13 長瀬塾跡



安政6年(1859)、藩士の土着政策を実施した際、自らも西方村長瀬(現高梁市中井町)を切り開き居宅を構えた。この地では、明治元年(1868)から家塾・長瀬塾を開き、多くの子弟を教育した。  
JR伯備線方谷駅は長瀬塾跡に建っており、駅の傍らには「山田方谷先生住宅址の碑」が建てられている。

山田方谷の生誕地、高梁市中井町西方に建てられた市の地域活性化拠点施設がある。「方谷資料展示室」が整備され、DVDによる山田方谷シアター、生い立ちから晩年までのタペストリー展示、インターネットによる方谷関連ホームページの閲覧ができ方谷の遺品なども展示されている。

### 14 方谷の里ふれあいセンター



### 15 方谷園



明治43年(1910)5月、山田方谷の功績・遺徳を未永く顕彰するために造られた、方谷誕生の地、中井町西方にある公園である。園内には方谷の墓や山田家歴代の墓などがある。方谷の墓の文字は板倉勝静(かつきよ)によるものであり、また、園入口にある「方谷園」の園名碑は犬養毅首相による揮毫である。三島中洲(ちゅうしゅう)撰文の方谷園記念碑などもある。

## 山田方谷略年譜

- 文化2年(1805年) 備中松山藩領西方村(現在の高梁市中井町)で生まれる。
- 文化6年(1809年) 5歳 新見藩 丸川松隠塾で朱子学を学ぶ。
- 文政8年(1825年) 21歳 名声広まり藩主、板倉勝職から二人扶持をいただく。
- 文政10年(1827年) 23歳 第1回京都遊学 寺島白鹿に学ぶ。
- 文政12年(1829年) 25歳 第2回京都遊学 寺島白鹿に学ぶ。遊学から戻り、藩主から苗字帯刀を許される。藩校有終館会頭に抜擢される。
- 天保2年(1831年) 27歳 第3回京都遊学 寺島白鹿に学ぶ。陽明学に出会う。
- 天保5年(1834年) 30歳 江戸遊学で佐藤一斎の門下に入る。佐久間象山と出会う。
- 天保7年(1836年) 32歳 有終館学頭を命じられる。大小姓格に抜擢される。
- 天保9年(1838年) 34歳 家塾「牛籠舎」を開校する。
- 弘化元年(1844年) 40歳 世子の板倉勝静入封、方谷併講する。
- 弘化4年(1847年) 43歳 津山藩洋式砲術役・天野直人に砲術を学ぶ。庭瀬藩火砲指南役・渡辺信義に火砲術を学ぶ。
- 嘉永2年(1849年) 45歳 松山藩の元締役兼吟味役元締を命ぜられ、藩政改革に取り組む。
- 嘉永5年(1852年) 48歳 松山藩郡奉行に任命される。農兵隊(農民による西洋銃陣)を創設する。
- 安政元年(1854年) 50歳 元締兼藩執政となる。
- 安政3年(1856年) 52歳 年寄役助勤となる。郡奉行も引き続き兼務となる。
- 安政4年(1857年) 53歳 松山藩の元締を辞任する。このとき、板倉勝静、幕府の寺社奉行となる。
- 万延元年(1860年) 56歳 再び藩元締に再任される。
- 文久元年(1861年) 57歳 2月、江戸で藩主の顧問となる。4月、顧問を辞任し帰国する。5月、元締役に辞任する。
- 文久2年(1862年) 58歳 板倉勝静、老中となる。方谷は再び勝静の幕政顧問となるが、程なく辞任、準年寄役に転ず。
- 文久3年(1863年) 59歳 板倉勝静、上京。4月、京都における勝静の顧問に再任されるが、5月には辞任する。
- 元治元年(1864年) 60歳 板倉勝静、長州征討に出陣、留守を守る。
- 明治元年(1868年) 64歳 大政奉還のち戊辰戦争おこり、備中松山征討軍に無血開城する。
- 明治2年(1869年) 65歳 長瀬の塾舎を増築、子弟教育につとめる。
- 明治3年(1870年) 66歳 刑部に住居を移転する。引き続き教育につとめる。
- 明治6年(1873年) 69歳 再興された閑谷学校で、陽明学の講義をする。
- 明治10年(1877年) 73歳 6月26日、小阪部で没する。6月29日、西方村の墓地に葬られる。

## 教育財家 山田方谷

この町を舞台に日本史上でも類を見ない藩政改革が行われた。その改革を行った人物が山田方谷である。方谷の行った改革により、破綻寸前だった藩は劇的な変化を遂げた。また山田方谷は江戸幕府最後の老中首座・板倉勝静の政治顧問として激動の幕末の嵐に巻き込まれてゆく。方谷やその門弟たちが過ごし、守ったこの町を巡ってみよう。

# 事ノ外ニ立チテ 事ノ内ニ屈セズ



方谷林公園築園100周年記念事業  
高梁方谷会

備中松山 岡山県高梁市